

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年6月9日

【発行者名】 パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 杉 浦 和 也

【本店の所在の場所】 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル

【事務連絡者氏名】 小 林 徹 也

【電話番号】 03 (5208) 5947

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 SAIKYO日本株式CSRファンド

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】 上限1,000億円

【縦覧に供する場所】 該当ありません。

1. 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成28年3月18日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の記載事項について、CSRに関する情報の提供元であるISS（Institutional Shareholder Services）社の調査・分析部門がMSCIに買収されたことにより、社名の記載をMSCI ESG Research社に訂正するものです。

2. 【訂正箇所および訂正事項】

原届出書の該当事項を次の内容に更新・訂正します。

下線部_が訂正箇所を示します。（「第二部 ファンド情報 第1ファンドの状況 1ファンドの性格（1）ファンドの目的及び基本的性格 ファンドの特色」の図においては、訂正部分を示す下線表示を省略します。）

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの特色

[訂正前]

（略）

- 2) 投資候補銘柄の選定にあたっては、発行企業のコーポレート・ガバナンス（企業統治）、環境責任、社会的責任の3つの概念からISS（Institutional Shareholder Services）社が調査・分析を行い提供される情報を参考に選定します。



ISS社は、コーポレート・ガバナンスの調査・分析や議決権行使サービスを提供する世界でトップレベルの調査会社です。世界各国でコーポレート・ガバナンス、議決権行使、CSR等のリサーチを行っています。

- 3) ポートフォリオの構築にあたっては、以下のステップにより行うことを基本とします。
1. 定量的スクリーニングにより抽出した大型株を中心に、定量的スクリーニングと定性的スクリーニングにより抽出した中小型株を加え、投資対象ユニバースを構成します。
 2. ISS社は、前記1.により構成された投資対象ユニバースを対象に、CSRの観点から調査を行います。
 3. ISS社の調査結果を参考にCSR評価を行い、相対的に優位にある銘柄を選別します。
 4. 前記3.により選別された銘柄を対象に、委託会社独自の分析・手法により最終的な銘柄選定等を行い、ポートフォリオを構築します。



（略）

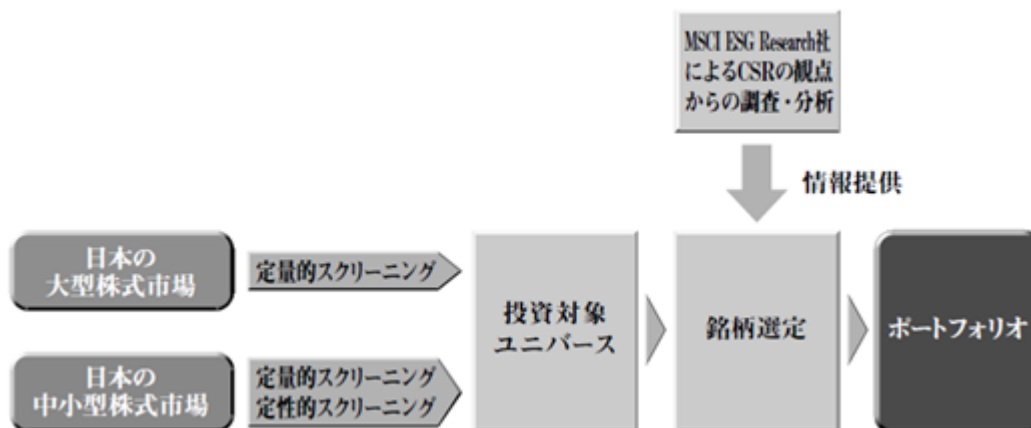
[訂正後]

（略）

- 2) 投資候補銘柄の選定にあたっては、発行企業のコーポレート・ガバナンス（企業統治）、環境責任、社会的責任の3つの概念からMSCI ESG Research社が調査・分析を行い、提供される情報を参考に選定します。



- 3) ポートフォリオの構築にあたっては、以下のステップにより行うことを基本とします。
1. 定量的スクリーニングにより抽出した大型株を中心に、定量的スクリーニングと定性的スクリーニングにより抽出した中小型株を加え、投資対象ユニバースを構成します。
 2. MSCI ESG Research社は、CSRの観点から調査を行います。
 3. MSCI ESG Research社の調査結果を参考にCSR評価を行い、相対的に優位にある銘柄を選別します。
 4. 前記3.により選別された銘柄を対象に、委託会社独自の分析・手法により最終的な銘柄選定等を行い、ポートフォリオを構築します。



(略)

2【投資方針】

(1)【投資方針】

運用方法

[訂正前]

(略)

- 2) 投資候補銘柄の選定にあたっては、発行企業のコーポレート・ガバナンス（企業統治）、環境責任、社会的責任の3つの概念からISS社が調査・分析を行い提供される情報を参考にします。
- 3) ポートフォリオの構築にあたっては、以下のステップにより行うことを基本とします。
 - a. 定量的スクリーニングにより抽出した大型株を中心に、定量的スクリーニングと定性的スクリーニングにより抽出した中小型株を加え、投資対象ユニバースを構成します。
 - b. ISS社は、前記a.により構成された投資対象ユニバースを対象に、CSRの観点から調査を行います。
 - c. ISS社の調査結果を参考にCSR評価を行い、相対的に優位にある銘柄を選別します。
 - d. 前記c.により選別された銘柄を対象に、委託会社独自の分析・手法により最終的な銘柄選定等を行い、ポートフォリオを構築します。

(略)

[訂正後]

（略）

- 2) 投資候補銘柄の選定にあたっては、発行企業のコーポレート・ガバナンス（企業統治）、環境責任、社会的責任の3つの概念からMSCI ESG Research社が調査・分析を行い、提供される情報を参考にします。
- 3) ポートフォリオの構築にあたっては、以下のステップにより行うことを基本とします。
 - a. 定量的スクリーニングにより抽出した大型株を中心に、定量的スクリーニングと定性的スクリーニングにより抽出した中小型株を加え、投資対象ユニバースを構成します。
 - b. MSCI ESG Research社は、CSRの観点から調査を行います。
 - c. MSCI ESG Research社の調査結果を参考にCSR評価を行い、相対的に優位にある銘柄を選別します。
 - d. 前記c.により選別された銘柄を対象に、委託会社独自の分析・手法により最終的な銘柄選定等を行い、ポートフォリオを構築します。

（略）

3【投資リスク】

（1）当ファンドのリスク

CSR評価の採用に関わるリスク

< CSR評価変動のリスク >

[訂正前]

当ファンドではCSR評価の調査分析において定評の高いISS社の調査情報に基づいて最終的な投資銘柄を決定しますが、事前に知り得ることができない情報の発覚などにより、CSR評価が著しく変化する可能性があります。一般的に不祥事などの発覚後には株価が大きく下落する傾向があり、この影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する要因になることがあります。

（略）

[訂正後]

当ファンドではCSR評価の調査分析において定評の高いMSCI ESG Research社の調査情報に基づいて最終的な投資銘柄を決定しますが、事前に知り得ることができない情報の発覚などにより、CSR評価が著しく変化する可能性があります。一般的に不祥事などの発覚後には株価が大きく下落する傾向があり、この影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する要因になることがあります。

（略）